

2012年9月1日
号外民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
メール press@dpj.or.jp
URL http://www.dpj.or.jp

NO. 17 神尾てるあき

てるてるネットワーク

9月からポリオ不活化ワクチンスタート

1. ポリオとは？

ポリオ(急性灰白髄炎)は、ポリオウイルスが口からヒトの体内に入り、咽頭や小腸の粘膜で増殖し、その後脊髄を中心とする中枢神経系へ達し、これらを破壊することによって症状を生じます。ポリオウイルスに感染しても、多くの場合は病気として明確な症状は現れません。しかし、発症した場合は主に手や足に麻痺が現れ、一部では永続的な後遺症を残す可能性もあります。特異的な治療法はなく、対症療法が中心となっています。日本では、昭和35年にポリオが大流行しましたが、ワクチンの導入によって、昭和55年の例を最後に、以降、野生のポリオウイルスによる患者は出ていません。もっとも、海外には今もなおポリオが流行している地域があり、そこから日本国内にポリオウイルスが持ち込まれる危険性はあるのです。

2. 生ワクチンの問題点

ポリオの予防接種には、口から摂取する「生ワクチン」が使用されてきました。生ワクチンは、ポリオウイルスの病原性を弱めてつくったもので、ポリオに感染したときと同様の仕組みで強い免疫が得られます。ただ、免疫をつける力が優れている一方で、稀にポリオと同じ症状が出ることもありましたが。その副作用の割合は100万人に1人といわれています。また生ワクチンを接種した子の排便などから親に感染する例もあり、これまで生ワクチンからの感染の危険性が指摘されてきました。私も自分の子どもの接種の際は、生ワクチン接種後しばらくは、子どもの指しゃぶりや排便の取り扱いに注意をしました。海外では早期から上記のような感染の危険のない不活化ワクチンが導入されており、私も「すぐに日本でも不活化ワクチンを導入すべき」と訴えてきました。

3. 不活化ワクチンがスタート

これに対して「不活化ワクチン」は、ポリオウイルスを死滅させ不活化し、免疫をつくるために必要な成分を取り出して、病原性をなくしてつくったワクチンです。ウイルスとしての働きはないので、ポリオと同様の症状が出るという副作用はありません。生ワクチンの場合は口から飲む経口接種でしたが、不活化ワクチンの場合は注射による皮下接種です。昨年、神奈川県が独自にポリオ不活化ワクチンの導入を決定して話題になりましたが、その後の議論を経て、今年9月1日から全国的に不活化ワクチンが導入されることとなりました。これまで不活化ワクチンは、個人輸入している医療機関で接種を受けることはできましたが、計4回の接種に約2万円自費負担が生じ、その上、健康被害が生じた場合の補償もありませんでした。その点がようやく解消されたのです。もちろん江戸川区においても不活化ワクチンの定期接種がスタートしています。これに伴い、秋に予定していた生ワクチン集団接種は中止されました。生ワクチンの危険性がニュースになっているのを見て、しばらく子どものポリオワクチン接種を控えていた方も多いのではないのでしょうか？

4. 不活化ワクチンの接種スケジュール

不活化ワクチンは、初回接種として20日から56日までの間隔をおいて3回、また追加接種として初回接種終了後6ヶ月以上の間隔をおいて1回、の計4回の接種が必要です。初回接種(1～3回目)の接種年齢は、生後3ヶ月から12ヶ月です。7歳6ヶ月(生後90月)になるまでの間であれば、過去に生ポリオワクチンの接種を受けなかった方も、不活化ワクチンの定期接種を受けることができます。これまで生ポリオワクチンを1回接種した方は、今後、不活化ワクチンを3回接種することになります。すでに生ポリオワクチンを2回接種した方は、不活化ワクチンを接種する必要はありません。

5. 今後のこと

不活化ワクチンは、平成24年度内に接種対象者全員の接種を完了するために十分な供給量が確保される見込みとなっています。同時期に希望者が集中した場合には、一時的に接種が受けにくくなるという想定もされていますが、今のところ大きな滞りもないようです。実際に、私も自身の子どもの接種予約をしましたが、すんなりとできました。また、現在は単独の不活化ワクチンと3種混合ワクチンの接種が実施されていますが、今後、ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオワクチンの4種混合ワクチンの導入も検討されています。しかし、4種混合ワクチンの導入を待っている間に、ジフテリア・百日せき・破傷風に罹患してしまつては元も子もありません。特に、乳児の百日せきは重症化しやすく命に関わることもあります。現状では、不活化ポリオワクチンと3種混合ワクチンの接種をされることをオススメします。

神尾てるあきタウンミーティング

恒例のタウンミーティングを下記の通り開催いたします。毎回、地域の課題がたくさんの方から寄せられています。途中参加・途中退席でも構いません。ご参加をお待ちしております。

記

【日時】2012年9月27日(木) 18:30～20:00 参加無料

【場所】明和橋会館 1階 (江戸川区春江町3-7-10)

神尾昭央(かみおてるあき) プロフィール

1982年(昭和57年)静岡県西伊豆の土肥町(現在の伊豆市)で生まれる。
日本大学三島高等学校卒業。日本大学法学部法律学科(法職課程)卒業。
駿河台大学大学院法務研究科(法科大学院)を修了し、法務博士取得。
衆議院議員初鹿明博の秘書として、政治の道を学ぶ。
2011年江戸川区議会議員選挙において2021票を獲得するも落選。
ホームヘルパー2級資格を取得し、江戸川区内の福祉施設にて勤務。
篠崎駅・瑞江駅・一之江駅にて朝の駅頭活動を継続中。2児の父親。



【神尾てるあき事務所】 〒132-0003 東京都江戸川区春江町3-32-3

TEL/FAX 03-5664-6708 メール info@kamioteruaki.com

ホームページ <http://kamioteruaki.com/> てるてるネットワークのバックナンバー掲載中です!

